

上田労働釣

「上田勤労者つりの会」会報

http://uedaroutyou.jimdo.com/

- ◆つり技術を高め、より楽しいつりを
- ◆つりマナーを守り、より気持ちのいいつりを
- ◆自然環境を大切に、いつまでも楽しいつりができるように
- ◆仲間と共に楽しむために

東京労働釣連と交流 楽しいひと時

6月30日〜7月1日の二日間、恒例となった交流会が行われ、釣りに温泉に楽しいひと時を過ごしました。参加できなかった皆さんは本当にお気の毒様でした。

**アユはダメだったが
 溪流は**

原因は分かっています。アユ組はダメだったようですが、釣果なしと言うわけではありませんが、魚影が薄かったと



酒の話とイサキの刺身

名児耶さんがお酒の準備をしてくれていました。たそうですが、何

と出がけに、玄米、全粒、いり、し、し、落、開、に、が、と、唐揚げにしていた。また、他の方々よりイサキをわがわが釣ってきた。雲浜さんにお願。いして早速刺身に。40尾ものイサキを美味しくいただきました。日本海ではイサキは釣れませんので、大変貴重なお刺身でした。

ま、北海道の魚は、大丈夫で、念、は、い、ん、か、り、あ、で、は、言、た、し、ま、つ、う、で、す。



放射能汚染に苦しむ

東京労働釣連の大島事務局長からは、福島第一原発事故に伴う放射能汚染との格闘の報告がありました。先日は手長エビの汚染を調べるための釣りをしたそ

の株の漬物などたくさん、差し入れもあって、交流会は時を忘れていました。

（高橋様 弱気はダメですよ。世のなかでは「ケチはケチ同士、年寄りも年寄り同士」と言います。来年も待っています。上田労働釣の仲間たちは、東京の皆さんの「毒舌」に中

参加者名簿

東京労働釣連

溪流組 伊勢一夫・名児耶忠章・竹藤敦・高橋力夫・伊藤節治・桑原裕士（東京労働釣連会長）

アユ組 大島肇（東京労働連事務局長）・大和久勇・菅谷重成

上田労働釣

北沢友典・島田正己・山下潤（坂本さん）島田さんの長年の釣友）・渡部昭和・島毛道夫
 特別参加の河野長和町議（失礼ながら敬称を略させていただきます。）



夏物クリアランスセール開催中
 アウトドアブランド 夏物ウェア
 レジにてさらに**20%OFF**
 溪流竿(テンカラ、本流竿含む)・アユ竿
 クーラーボックス・ウェーダー
 レジにてさらに**10%OFF**

なんと！今ならさらに！
会員ポイント 3倍 進呈中
 入会金・年会費無料 この機会にご入会ください。

セール期間8月19日(日)まで。皆様のご来店お待ちしております。
 バンバン上田店 TEL:0268-21-1816

年間の大事な行事

上田労働会長 渡部 昭和

「東京労働連との交流会」が今年も6月30日・7月1日に行われました。

溪流組には、東京労働連会長の桑原さんはじめ、名児耶さん、竹藤さん、高橋さん、伊藤さん、伊勢さんの6名。

アユ組には、大島さん、大和久さん、菅谷さんの3名。計9名でした。

参加予定のお馴染みの根上さんは、直前に肺炎で入院すると言アクシデントもありましたが、今年も賑やかにそして楽しい交流会になりました。

上田労働からは、交流会の

アユ組は、今年も満足できるような釣果は得られなかったようです。

溪流組は、ラッキーなこと6月28日にヤマメの成魚放流が行われ、そのうえ当日は、釣り人が少なかった事もあり、交流会史上初の最高の釣果を得ることが出来、皆さんに満足していただけたと思います。

各人の釣果はデーター集約中ですので、機会があればお知らせしたいと思います。

この交流会成功のために、何かと努力していただいた皆さんに感謝致します。

来年もまた、楽しく盛大な交流会が出来ることを期待しています。

2日間の参加者は、山下さん、島田さんと友人の坂本さんそして私で、上田からの参加者が少なく大変申し訳ないと思います。

ただ、今年には自治会長や、消防など公務で参加できないという条件もありましたので、お許しいただきたいと思います。

上田労働の流し釣り大会

やってみな、面白いから



2012.06.05

上の写真は、大石さんが三十分以上も前に来て草刈りをしてるところ。

下の写真は、小学生の女の子がヤマメを釣ったところ。

流し釣りは竹竿と釣り糸、針だけの単純な仕掛けですが、どういふわけか初心者の子どもたちでも良く釣れるのが特徴で、「子どもの遊び」とバカにする向きも

う大人たちが子供に負けてしまふこともしばしば。

伝統的な釣法なのですが、最近では遊んでい

結構楽しくやっています。

バカなさんご協力の

流し釣り大会は、釣りそのものが面白いこと、小さな子どもたちは川遊びそのものが楽しいこと、そして、毎回無理をお願いしているバンバンさんからの景品の楽しみ、これが楽しい三要素となっております。



2012.06.05

左下の写真は、景品を配る渡部会長。

食事は焼きそばと釣魚の唐揚げ。これも恒例となっております。

右の写真は草刈りに加えて焼きそばをつくらされている大石さん。猛暑と焼けた鉄板



2012.06.05



2012.06.05

今年はあまり釣れない？

の熱に耐えながら汗を流していました。左の写真は、毎回唐揚げをつくっている渡部会長の奥さん。いつもご苦労様です。



2012.06.05

来年は宣伝を大規模に

参加者が二十名台で推移していますので、これを三十名、四十名にしていくために、今後は行事の宣伝を強化することになります。

自然の中で遊ぶ楽しさをもつと広げたいと思います。

大人たちも、子どもたちも大枚をはたいて娯楽施設に行くよりはずっと楽しいと思えるはず。

勿論、内容も再吟味して、充実した行事にします。

はるか遠い昔、ほとんどの子どもたちは自分で竹竿をつくり、乏しいこずかいで釣り糸を買い、釣り針を買い、腹が減ったら近くの畑からトマトやキュウリを失敬して毎日遊んだものでした。原発事故以来、そんな日々が案外と良かったと思われ始めています。

取り戻したいものと思えます。

今年にはハヤがあまり釣れない、と言われたいましたので、事前におこうなど話していただきました。確かに近年になり貧果で唐揚げになるかどうか心配でしたので、北海道の魚